

2025年1月31日

各位

会社名 日本製罐株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西尾 文隆  
(コード:5905 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員経理部長 田中 修二  
(TEL. 048-665-1257)

## 中期経営計画（最終年度：2025年度）に関するお知らせ

当社グループは、2023年1月31日に公表しました中期経営計画（2023年4月～2026年3月）について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の状況

当社は2025年3月期において巨額の損失を計上することになりました。これは新設した美術缶ラインの大幅な稼働の遅れや、一昨年前に設置した18リットル缶ラインを活用した新規受注が計画通りに進んでいないことが主な要因として挙げられます。

こうした状況を受け当社は、持続的な成長と安定的な収益確保を実現するため、以下の施策を強力に推進し、競争力のある事業基盤の確立を目指してまいります。

まず、販売数量に見合った最適な生産体制の確立を図るべく、製造ラインの集約を実施し、千葉工場の閉鎖を決定いたしました。これにより、固定費の削減と生産効率の向上を実現し、事業全体の収益性を大幅に改善してまいります。

次に、資産の適正評価を進め、減損損失を計上することで財務の健全性を強化いたします。この決断は、今後の持続的成長に向けた健全な財務基盤の確立に寄与すると確信しております。

また、人員の合理化を実施し、組織のスリム化と生産性の向上を図ることで、より機動的な経営体制へと移行してまいります。これにより、企業体質の強化と持続的な競争優位性を確立いたします。

一方で、当社は成長戦略の柱として、既に開発済みの高付加価値材の市場投入を本格化いたします。

さらに、新規商品の開発にも注力し、市場のニーズに即した製品を迅速に提供することで、事業領域の拡大と成長機会の創出を図ります。

これらの施策を一体的に推進することで、当社は中長期的な安定成長と持続的な利益創出を実現し、株主の皆様に対し、より高い価値を提供してまいります。

上記施策の実施を踏まえ、あらためて2025年度の計画値に就いては後日、発表させていただきたいと考えています。

以上